

第1回 ナガセケンコー旗争奪大会

NAGASE
KE



KO
Corp.



(公財)日本少年野球連盟

期 間

2023年4月1日(土)、2日(日)、8日(土)
予備日9日(日)

会 場

森林公園野球場、碧南臨海公園野球場
県営一宮運動公園、小牧市民球場

主 催

(公財)日本少年野球連盟 愛知県西支部

後 援

愛知県
ナガセケンコー(株)
愛知銀行
(公財)日本少年野球連盟

開 会 式

行 わ な い

閉 会 式

2023年4月8日(土)16時00分～ 森林公園第1野球場

1. 役員、審判員、監督、コーチ整列
2. 選手 整 列
3. メ ダ ル 授 与
4. 選手、役員、審判員、監督、コーチ退場

第1回ナガセケンコー旗争奪大会役員名簿

《大会会長》

愛知県西支部支部長 渡会 武則

《大会副会長》

ナガセケンコー株式会社
代表取締役社長 星 久美

ナガセケンコー株式会社
営業部部長 牧野 公保

《大会運営委員長》

愛知県西支部企画運営部長 山岸 昌弘

愛知県西支部企画運営副部長 大野 工太

《大会運営副委員長》

愛知県西支部行事委員長 玉置 正樹

愛知県西支部行事副委員長 澤中 涉

《大会運営委員》

愛知尾州ボーイズ代表 内藤 邦将

愛知小牧ボーイズ代表 服部 誠

尾張ボーイズ代表 高木 哲也

春日井ボーイズ代表 窪園 三郎

愛知守山ボーイズ代表 池田 一成

名古屋名東ボーイズ代表 平木 雅之

愛知江南ボーイズ代表 住藤 重光

東尾張ボーイズ代表 前島 康典

愛知長久手ボーイズ代表 小林 正俊

《大会審査指導部長》

愛知県西支部審査指導部長 柴田 昭二

《大会審査指導副部長》

愛知県西支部審査指導副部長 林 日出夫

《大会顧問》

日本少年野球連盟名誉会長 藤田 英輝

日本少年野球連盟会長 惣田 敏和

日本少年野球連盟副会長 工藤 眞一

日本少年野球連盟専務理事 大富 肇

日本少年野球連盟特別相談役 堀内 健

日本少年野球連盟理事 松本 行弘

中日本ブロック長 榊原 隆宏

日本少年野球連盟理事
愛知県西支部担当

《大会総務部長》

愛知県西支部総務部長 荒川 達哉

《大会事務局長》

愛知県西支部事務局長 中村 直人

《大会副事務局長》

愛知県西支部副事務局長 澤中 涉

《大会広報委員長》

愛知県西支部広報委員長 星野 忠啓

《大会会計部長》

愛知県西支部会計部長 尾関 学

《大会会計副部長》

愛知県西支部会計副部長 牧野 義人

《大会会計監査》

愛知県西支部会計監査 大迫 英紀

《大会審判長》

愛知県西支部審判長 山田 和雅

《大会副審判長》

愛知県西支部副審判長 林 欣吾

// 下林 和幸

// 木崎 勝広

《大会審判員》

愛知県西支部審判員諸氏

大会規定

- 1・チームの登録選手は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は当年度発行のものとする。
- 4・オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
- 5・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 6・監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7・試合開始時刻60分前までに試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録副表3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
- 8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
- 9・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10・試合方法など
 - (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデットゲームとする。
 - (2) 4回終了時(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3) 7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11・(1) 中学生の部投手の投球数は、1日最大80球とし、連続2日間で120球以内とする。
連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。また3連投(連続する3日間)する場合は、1日の投球数を40球以内とし4連投(連続する4日間)は禁止する。連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。また、1試合のみ投球した場合は、1日の投球とする。
 - (2) 打席の途中で制限数に到達した場合は、当該打者の打席が終了するまでは投球を認める。その時制限数を超えた投球数はカウントしない。
 - (3) ボークは投球数としない。ノーゲームになった試合も投球数にカウントする。申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする。その他は連盟本部発行の「投球数制限ガイドライン」に基づく。
 - (4) 日程の変更(地区大会を含む)等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前大会参加状況報告書」次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛に提出しなければならない。
- 12・(1) 監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
 - (2) 守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3) 内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4) 指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13・1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。

- 14・審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
- 15・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 20・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等は連盟指定業者のものに限る。
- 21・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること。
- 22・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 23・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 24・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 25・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 26・守備側のチームの監督は球審に敬遠の意思を伝えると投手が投球することなく対戦打者を四球にすることができる(申告敬遠)。
- 27・各チームはAEDを持参すること。

参考

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイプブレイク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間00分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しい時は以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
 - (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
 - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
- (二) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人の記録

チームおよび個人の記録は公式記録とするが、如何に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打・無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録とする。

中学生投手の投球制限ガイドライン 2022年版

レギュラーの部・ジュニアの部 大会

中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大**80球**とし、連続する2日間で**120球**以内とする。
連続する2日間で**80球**を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を**40球**以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日**80球**以内とし、翌日投球を休めば3日目は**80球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で**80球**を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手
としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数としない。
- ⑥ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ⑦ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

1年生大会

1年生大会の試合での登板は以下の通り制限する。

- ① 1日最大**70球**とし、連続する2日間で**105球**以内とする。
連続する2日間で**70球**を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を**35球**以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日**70球**投球後、翌日投球を休めば3日目**70球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で**70球**を超えた投手、並びに3連投した投手は、
翌日は捕手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数にしない。
- ⑥ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

共通事項

ダブルハッターの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。

また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

2023年3月13日

(公財)日本少年野球連盟

新型コロナウイルス感染防止対策 2023新ガイドライン

(2023.3月改訂版)

1.ボーイズリーグの活動における基本注意事項(以下、「基本事項」という。)

(1)活動参加に際して

- ①選手・指導者・保護者等・役員等すべての関係者は、当日の検温を測り、熱・風邪 症状(喉痛、咳、痰、呼吸症状)等の体調に異常がある場合は参加不可
- ②感染拡大期はもとより、活動への参加を強制するのではなく、選手の保護者から同意をとり、チームとして常に参加の意思を確認する

(2)マスク着用について

- ①マスク着用は原則、個人の判断に委ねる
- ②バス移動の場合は、8割程度で乗車し換気をすること
換気が難しい場合はマスクを着用する

(3)屋内での活動について

- ①密にならないように注意し換気をすること

(4)昼食等飲食時の注意

飲食する場合は、以下を遵守すること

- ① 食事前等に手洗い、手指消毒すること
- ② 黙食とする
- ③ 保護者等が配膳する場合は、選手・保護者はマスク着用

(5)手洗い、消毒の慣行

活動の際には、こまめな手洗い・手指消毒と使用後の備品の消毒などの慣行をチームとして義務づけること

(6)備品・消耗品の常備

チームは手指用消毒薬、備品用消毒薬、石鹸、体温計、ペーパータオル等を常備すること

(7)活動参加者の把握(チーム内での感染拡大防止のため)

チーム及び大会等の主催者は、活動における参加者を「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」等の提出により把握しておくこと

2.主催大会、地区大会の注意事項

(1)大会開会式、閉会式について

- ①開催会場の了承を得て会場の規則を遵守したうえで開催を認める

(2)大会運営について

- ①室内本部はマスク着用、必要最低限の者で運営を行う。換気を行ない、密を避ける。
- ②球場責任者は、各担当者を配置して、チーム代表に観客等含めて密にならないよう指導し、消毒液・手洗い用、ハンドソープ等を設置すること(本部席、ベンチ、トイレ等)
- ③各チームは試合開始1時間前に大会本部に到着すること
- ④各チームは、チーム責任者が登録役員・選手名簿、オーダー表、「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」を本部受付に提出する
- ⑤試合前審査は、コロナ禍前と同様に前試合の4回終了までに整列して行う。
但し、選手は氏名、生年月日を発声しない。球場運営責任者が指導者・選手などに「基本事項」1-(2)を説明・確認する。
- ⑥球場入場時に大会本部役員は「新型コロナウイルス感染症対策当日参加名簿」記載の体温を確認し、人数分のリストバンド又はシールをチーム責任者に配布し参加名簿の全員につけてもらい大会参加者であることを示す。また、アルコール消毒を実施する
- ⑦試合中は、チーム責任者は「基本事項」1-(2)をチーム内で徹底させること(観戦保護者等含む)
- ⑧試合終了後は密を避けるために速やかに会場から解散する
- ⑨接待・運営は密を避けて行うこと
1-(3)「昼食等飲食時の注意」を遵守する
飲料等については、配膳する前に手洗い・消毒
感染防止に配慮した使い捨て容器の使用を推奨する。使い捨て以外の食器等は合成洗剤で必ず洗浄すること
- ⑩役員、一般の観戦者には、受付名簿に氏名、電話番号、体温を記入して頂く
- ⑪その他細目については、大会主催者が本ガイドラインの趣旨に基づき大会運営細目等を別途定めて大会を運営する

3.遠征・合宿等、入部歓迎会・卒部式・祝勝会等の行事について

(1)行事開催について

- ①ブロック行事については、ブロック長が責任を持って安心・安全を確保して実施する
- ②支部行事については、支部長が責任を持って安心・安全を確保して実施する
- ③チーム行事については、チーム代表が責任を持って安心・安全を確保して実施する

(2)練習試合・遠征について

- ①練習試合は、特に相手チームとの交流については「基本事項」を遵守すること

(3)入部歓迎会・卒部式・祝勝会・新年会等について

- ①チーム行事については、チーム代表が責任を持って安心・安全を確保して実施する

4.チーム内で感染者が出た場合の対応・対策について

(1)選手・指導者及び同居家族が陽性となった場合

- ①選手・指導者及び同居家族が陽性となった場合は、必ずチームに報告すること(普段からチーム内で連絡徹底を指導)
- ②陰性となるまでチーム活動への参加は禁止すること

(2)大会期間中の連盟等報告について

- ①大会期間中に参加しているチーム関係者に陽性者が判明した場合は、当該チームの代表者は、速やかに大会運営本部及び支部長を通じてブロック長に報告すること
- ②大会主催者は、本通達の「基本事項」に照らして感染拡大の恐れがあると判断した場合は、直ちに大会を中止・延期にするか、または、当該チームと対戦・接触したチームに対する出場辞退等を検討する。
- ③報告を受けたブロック長が感染拡大の恐れが高いと判断した場合は上記によらず連盟本部と協議の上、中止・延期等の決定ができることとする。また、連盟主催の大会においては、これを会長が判断する

以上、本ガイドラインを遵守した上でボーイズリーグの活動に努めることとし
また、各大会主催者は感染状況に応じ 大会時に感染リスクを下げるために感染対策を付加することが出来る

愛知尾州ボーイズ

代表	内藤 邦将	
監督	藤川 正樹	
コーチ	筏井 知良	
マネージャー	小松 正義	
3	主将	佐藤 類 3年
4		川井 佑真 2年
7		森迫 煌斗 3年
10		伊藤 高真 3年
11		池戸 遥登 3年
12		戸高 真 3年
13		小林 大雅 2年
19		矢作 健太 3年
22		杉村 空飛 3年
23		竹島 漣 3年
24		新井 堅心 3年
27		奥村 皇汰 3年
28		島田 耀 2年
32		山本 寿希也 2年
48		鶴飼 友貴 3年
53		早川 湊 2年
54		朝倉 陸 2年
56		島岡 煌 2年
65		平松 孝之助 3年
72		西川 一咲 3年
82		平野 光樹 2年
90		長崎 匠真 2年

名古屋旭丘ボーイズ

代表	澤中 渉	
監督	虫賀 千修	
コーチ	滝本 雅晴	
マネージャー	佐々木 敦司	
52	主将	鈴木 大梧 3年
1		氏橋 竣 2年
2		佐藤 壮 3年
3		熊崎 陽斗 2年
4		落合 健翔 2年
5		勝田 燎 2年
7		亀谷 祐和 3年
8		藤井 力斗 3年
9		籠 勇人 2年
10		堀 日向 2年
11		寺島 豪健 3年
13		山本 蒼汰 2年
15		高井 駿 3年
16		奥村 康生 2年
17		山田 禪 3年
21		田口 虹太郎 2年
22		木原 大智 3年
24		後藤 大和 3年
25		舟津 悠輝 2年
27		河原崎 啓登 3年
29		矢野 颯一朗 2年
34		後藤 大我 3年
38		成瀬 壮輝 2年
44		土岐 将太 3年

愛知小牧ボーイズ

代表	服部 誠	
監督	水野 哲也	
コーチ	木下 英二	
マネージャー	岩切 利仁	
55	主将	板津 心一朗 3年
0		廣瀬 結翔 2年
1		大塚 達貴 2年
2		渡邊 竜翔 2年
3		小川 夢斗 2年
5		大池 桔平 2年
6		祖父江 勇斗 2年
7		加藤 響 2年
8		長谷川 彪 2年
11		中島 脩真 2年
12		藤代 悠右 2年
18		滝 一瑳 2年
25		大家 蒼士 2年
30		島田 蓮音 2年
31		才穂 永耀 2年
32		吉富 恵一朗 2年
33		小澤 尊 2年
34		内山 煌斗 2年
44		山下 陽 2年
51		堀 琥太郎 2年
56		上野 眞汰 2年
99		水野 束紗 2年

名古屋富士ボーイズ

代表	玉置 正樹	
監督	青山 富弘	
コーチ	川上 忠	
マネージャー	加藤 飛龍	
17	主将	杉浦 健真 3年
3		樋口 慶 2年
4		白川 葵己 3年
7		笠井 敬太 3年
13		三鍋 大心 3年
18		加藤 嶺乙 3年
21		山崎 智貴 3年
23		中村 彪真 3年
24		吉田 瑛太 2年
27		今村 祐星 3年
31		浅井 颯太 3年
32		杉山 竜司 3年
33		加賀 斗耶 3年
36		河井 優翔 3年

愛知木曾川ボーイズ

代表	大迫 英紀	
監督	鈴木 俊雄	
コーチ	森 裕幸	
マネージャー	青木 新介	
17	主将	松原 劉空 3年
2		澤 惇平 3年
4		上野 琥太郎 3年
5		佐橋 汰盛 3年
7		森 敦輝 3年
9		栗山 銀一郎 3年
10		石原 巧巳 3年
11		落合 悠貴 3年
14		角田 暁 3年
15		鈴木 竣太 3年
16		篠田 舜 3年
17		松原 劉空 3年
18		山田 環太 3年
20		内海 将大 3年
23		高須 翔己 2年
24		長倉 海祇 3年
30		堀 晃成 2年
32		桐谷 奏佑 2年
33		坪井 春樹 3年
36		馬見新 吏偉 3年
47		大園 将太 3年
55		脇田 佑埜 3年
56		矢島 陸翔 3年
66		鈴木 日向 3年
88		小栗 快人 2年

尾張ボーイズ

代表	高木 哲也	
監督	小林 俊哉	
コーチ	松本 茂樹	
マネージャー	後藤 久司	
6	主将	坂本 康希 3年
0		鈴木 惟莉亜 3年
1		武田 尚真 3年
3		大高 拓海 3年
7		竹内 壮 3年
8		成瀬 蒼琉 3年
9		浅野 壘 3年
10		丹下 慶人 2年
11		藤澤 秋哉 3年
15		内藤 蒼 3年
16		大高 克海 3年
18		中西 啓太 3年
20		山田 晁聖 3年
21		古川 虎侑 3年
23		松尾 心音 3年
24		阿南 大雅 3年
25		富田 悠瑚 3年
27		山田 悠稀 3年
29		谷口 翔梧 3年
31		工藤 聖也 3年
32		松本 壘 3年
35		比嘉 玲 3年
43		村木 友哉 3年
55		西山 幸我 2年
62		富倉 颯大 2年

春日井ボーイズ

代表	窪園 三郎	
監督	澤野 肇	
コーチ	三浦 浩	
マネージャー	小林 誠司	
9	主将	武藤 駿輝 3年
2		寺澤 輔 3年
3		塚本 龍海 3年
4		山口 諒馬 3年
5		日比 啓翔 3年
6		瀬口 恭平 3年
7		尾下 潤成 3年
8		今井 希信 3年
10		小野 陸翔 3年
11		佐藤 睦哲 3年
12		谷口 隼 3年
13		渡邊 龍哉 3年
14		岡 泰成 3年
15		佐藤 圭志朗 3年
16		今村 駿斗 3年
17		石田 一慧 3年
18		田淵 多真 3年
19		山田 琉也 3年
20		浅野 桃夢 3年
21		渡辺 誠真 3年
22		井戸 颯人 3年
23		長江 健三 3年
24		山田 壮哉 3年
31		木村 一耀 2年
33		塚本 獅丸 2年

愛知守山ボーイズ

代表	池田 一成	
監督	鈴木 賢一	
コーチ	田中 文康	
マネージャー	箕浦 昌俊	
13	主将	和辻 凌空 3年
1		仁禮 バスカルジュニア 3年
2		鈴木 翔太 3年
3		森 慎太郎 3年
4		箕浦 圭駿 3年
5		寺澤 空音 2年
6		石川 湊汰 3年
7		小島 流生 3年
8		松本 倫太郎 3年
9		安藤 寛太 2年
10		前田 龍飛 3年
11		芦沢 飛空 3年
12		穂積 俊介 3年
14		杉浦 立旺 3年
15		太田 貴太 3年
16		岩橋 興世 2年
17		鈴木 優吾 2年

名古屋名東ボーイズ

代表	平木 雅之
監督	竹村 和久
コーチ	岸田 幸三
マネージャー	永田 耕規
25	主将 小野田 嵩琉 3年
5	名久井 大輝 3年
6	平泉 大悟 3年
7	井上 零生 3年
8	水野 心翔 3年
9	石田 悠太 3年
10	船木 結太 3年
11	山崎 輝真 3年
14	外箴 遼太 3年
16	末永 紘士 3年
18	吉田 宗太郎 3年
19	久野 直翔 3年
27	川原 柊真 3年

愛知江南ボーイズ

代表	住藤 重光
監督	縄田 武志
コーチ	森 哲也
マネージャー	山下 佳宏
6	主将 森 柁景 3年
1	富成 貫太 3年
2	長屋 瑛大 3年
3	山下 響也 3年
4	大西 悠斗 2年
5	川口 拓真 3年
7	石川 歩夢 2年
8	栢本 実那人 3年
9	渡邊 旬道 3年
10	岩野 祥大 2年
11	宮瀬 晴基 3年
12	松山 太輔 3年
13	浅野 祐陽 3年
14	渡邊 成道 3年
15	山中 柊平 3年
16	吉田 藍士 3年
17	岩田 憲大 2年

東尾張ボーイズ

代表	前島 康典
監督	山下 浩一
コーチ	齋藤 真一
マネージャー	田中 和成
17	主将 小河 壮真 3年
1	田中 寛之 3年
2	森田 一真 3年
3	小川 翔大 3年
4	渡部 匠 3年
5	前原 凜太郎 3年
6	鈴木 雄介 3年
7	松澤 虎雅 3年
8	水野 誠生 3年
9	西脇 駆 3年
11	望月 慶太 3年
12	川原 広太郎 3年
13	山口 駿翔 3年
14	丹羽 孝介 3年
15	西田 羽大 3年
16	高桑 陽 3年
18	前田 将弥 3年
20	岩田 健蔵 3年
21	前田 一輝 3年
22	大澤 風汰 3年
23	武藤 湧真 3年

愛知瀬戸ボーイズ

代表	大野 工太
監督	鈴木 正秀
コーチ	栗山 嘉孝
マネージャー	水野 奈帆
10	主将 水野 優帆 3年
1	稲垣 海斗 3年
2	酒井 隆輔 3年
3	柘植 海史 3年
4	前田 泰芯 3年
5	安田 瑛太 2年
6	磯金 海里 2年
7	佐藤 有晟 3年
8	秋山 優太 3年
9	山田 悠翔 3年
11	青山 獅王 2年
12	小西 亮輔 3年
13	木村 祐太 2年
14	水野 太聖 2年
15	藤田 夏海 3年
16	倉橋 来渡 2年
17	岩田 佳大 2年
18	小山内 丈晃 2年
19	工藤 右京 3年
20	山内 佑峰 2年
21	中野 元太 2年
22	徳永 雄干 3年
23	林 稔貴 2年
24	大峠 篤弘 2年
25	工藤 左門 3年

名古屋北東ボーイズ

代表	林日出夫
監督	牧田 勉
コーチ	富田 雄一
マネージャー	白馬 太郎
66	主将 山田 敦也 3年
3	高木 雅弘 3年
4	補陀 契心 3年
9	井上 大輔 3年
14	横田 鉄伸 3年
18	青山 翔流 3年
19	阿部 太智 3年
20	木下 央介 2年
21	丹野 碧斗 2年
23	伊藤 舜太 2年
24	小島 悠太 3年
26	竹延 知哉 3年
29	山内 瑛太 3年
32	山口修史朗 3年
36	大槻 兼士 2年
41	中島 琉弥 3年
55	森河 音倭 2年
56	岡本 歩大 2年
81	小澤 玄 2年

愛知長久手ボーイズ

代表	小林 正俊
監督	赤間 大輝
コーチ	浅井 実
マネージャー	稲田 兄生
0	主将 村瀬 将斗 3年
2	中村 唯人 3年
3	西野 裕貴 2年
4	岡本 一落 2年
5	高野 晃志 3年
7	川口 裕輝 3年
8	小栗 大和 2年
9	古川 隼士 2年
10	池口 惺 3年
13	中尾 友紗希 3年
14	若松 奏佑 2年
18	細川 陽平 2年
21	荒木 琢哉 3年
23	牛脇 篤紀 2年
30	小川 巧 3年
33	坪内 瑛汰 3年
35	酒井 煌太 3年
40	加藤 玄暉 3年
41	近田 満琉 3年
44	小嶋 健太郎 3年
77	吉名 雫 3年
88	柘植 謙信 3年
90	森田 敬 3年

愛知津島ボーイズ

代表	山岸 昌弘
監督	国森 由剛
コーチ	池田 祐城
マネージャー	上村 隼大
5	主将 横井 仁賢 3年
1	皆川 瑛翔 3年
2	藤田 大翔 3年
3	杉原 拓斗 3年
4	片山 智尊 3年
6	崎原 琉兵 3年
7	谷口 ジョンハ 3年
8	岩田 竜之介 3年
9	大岩 瑞生 3年
10	佐々木 渉 3年
11	伊藤 優汰 3年
12	佐藤 優斗 2年
13	横井 征有 2年
14	松崎 青空 3年
15	永井 蓮人 2年
16	下間 慶寿 2年
17	藤島 琉樹也 2年
18	渡部 瑛心 2年
19	加藤 大翔 2年
20	皆川 璃緒 2年

第 1 回 ナ ガ セ ケ ン コ ー 旗 争 奪 大 会

1 日 目 2022年4月1日 (土)

A 球場 ◎ 森林公園第1野球場
 B 球場 森林公園第2野球場
 C 球場 碧南臨海公園野球場

愛知木曾川ボーイズ
 尾張ボーイズ
 愛知長久手ボーイズ

開会式は開催なし

2 日 目 2023年4月2日 (日)

D 球場 ◎ 小牧市民球場
 E 球場 県営一宮運動公園
 予備 球場

愛知木曾川ボーイズ
 B-2勝ち上がり

3 日 目 2023年4月8日 (土)

A 球場 ◎ 森林公園第1野球場
 B 球場 森林公園第2野球場
 E 球場 県営一宮運動公園
 予備 球場

愛知木曾川ボーイズ

予 備 日 2023年4月9日 (日)

球場

前年度優勝：愛知尾州ボーイズ

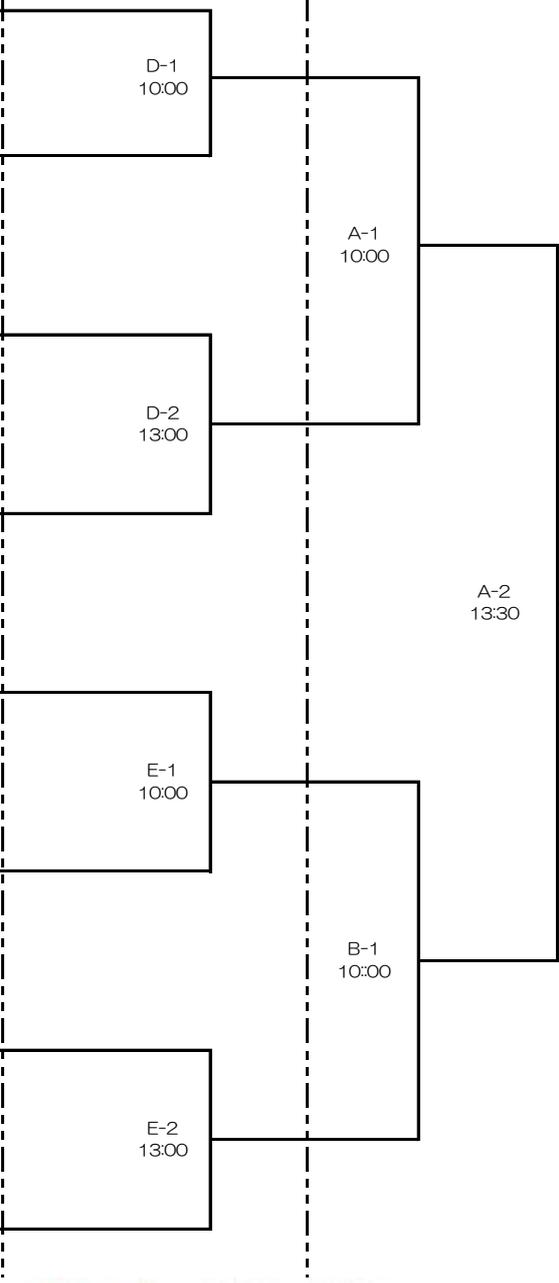
中学生の部
 支部

1 日 目

2 日 目

3 日 目

- 1 愛知尾州ボーイズ
- 2 名古屋旭丘ボーイズ
- 3 愛知小牧ボーイズ
- 4 名古屋富士ボーイズ
- 5 愛知木曾川ボーイズ
- 6 尾張ボーイズ
- 7 春日井ボーイズ
- 8 愛知守山ボーイズ
- 9 名古屋名東ボーイズ
- 10 愛知江南ボーイズ
- 11 東尾張ボーイズ
- 12 愛知瀬戸ボーイズ
- 13 名古屋北東ボーイズ
- 14 愛知長久手ボーイズ
- 15 愛知津島ボーイズ





公益財団法人 日本少年野球連盟

ボーイズリーグ 公認球



日本少年野球連盟

ボーイズリーグ 公認球

記号：BOYS OFFICIAL

表皮：天然皮革（牛革）

縫い糸：綿

中間層：羊毛・綿

芯：コルク・ゴム

周囲：22.9cm～23.5cm

重量：141.7g～148.8g

原産国：中国

※オンネームは非対応となります



試合球

硬式野球試合球
MODEL10



練習球

硬式野球練習球
MODEL9 NL
硬式野球練習球
MODEL9 NL



マシン用

硬式野球練習球
MODEL9 KSY
硬式野球練習球
MODEL9 KSR

KE  **KO**
BALL